

## リスクマネジメント

### リスクマネジメントの推進

オリンパスグループは、「リスクマネジメントおよび危機対応方針」に基づき、積極的かつ健全なリスクテイクによる企業の持続的成長や価値創出につなげる“攻め”と、不正や事故の防止という“守り”との両方の視点で、リスクマネジメントを行っています。

また、予期せぬインシデントが発生した際にも企業価値への影響を最小限にとどめるために、危機管理プロセスの整備に努めています。

### リスクマネジメント

オリンパスグループでは、持続的な成長の実現に向けて、戦略および年度目標の達成におけるリスクを同一のプロセス／基準で抽出／評価した上で、リスクの重要度に応じた重点施策を効率的、有効的に策定しています。

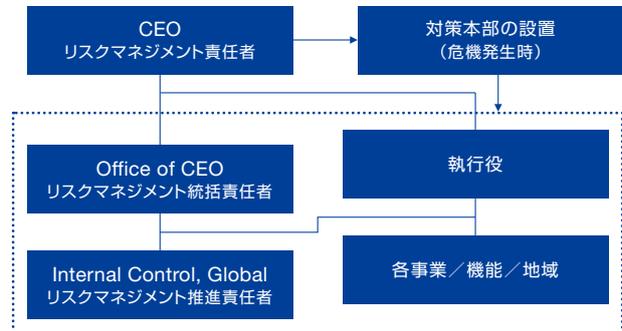
さらに今年度は指名委員会等設置会社における取締役会と執行役の役割と関係性に基づき、次のポイントを狙いとしたリスクマネジメントの強化を進めています。

- ① 代表執行役CEOを起点とするリスクアシュアランスの確立
- ② リスクマネジメントの一元化による透明性のある会社経営
- ③ 効率的・効果的なリスクマネジメントによる経営の基本方針達成の確度向上

### 事業展開上の主なリスク

医療行政の方針変更及びリプロセスに関する規制強化に係るリスク	各国の医療関連法規制や関連した行政の方針変更、リプロセス(洗浄・消毒・滅菌)に関する要求の高度化や予測できない環境変化等により、新製品やサービス等のタイムリーな提供ができない場合、販売した製品等に対する市場対応等を行う場合
市場競争状況に係るリスク	競合会社との競争激化による製品販売単価の下落や当社シェアの侵食、代替技術・製品の出現等が生じた場合
販売活動に係るリスク	ヘルスケア事業に関連するさまざまな不正防止法に係る法的規制の誤った解釈や適用指針の変更が生じた場合、事業環境に著しい変化が生じた場合
生産・開発活動に係るリスク	調達に制約を受ける場合、製品に不具合等が発生した場合、顧客のニーズに合致した新製品をタイムリーに開発できない場合
為替変動に係るリスク	急激な為替変動が生じた場合、ヘッジの対象となる債権・債務の発生が予定と大きく異なった場合
業務提携及び企業買収等に係るリスク	技術および製品開発、販売・マーケティングに係る戦略的提携関係の維持ができない場合、買収の対象事業を当社グループの経営戦略に沿って適切に統合できない場合、既存事業及び買収の対象事業について効率的な活用を行うことができなかった場合、投資有価証券の株価および評価額に著しい変動が生じる場合
投資全般に係るリスク	投資に係る意思決定を行った時点から外部環境が急激に変化する等、予期せぬ状況の変化が発生した場合
情報の流出に係るリスク	技術情報等の重要な機密情報や顧客その他関係者の個人情報情報が漏洩した場合
内部統制に係るリスク	当社内部統制システムがさまざまな要因により機能しなくなった際に、適切な対処ができない場合
法的規制に係るリスク	ヘルスケア事業に関連するさまざまな不正防止法に係る法的規制に違反した場合
訴訟に係るリスク	第三者より損害賠償請求や使用差し止め等の重要な訴訟が提起された場合
資金調達に係るリスク	金融市場環境の変化や当社グループの業績悪化等により資金調達コストが上昇した場合
事業構造改革に係るリスク	当社グループの経営戦略に沿った全社横断的な効率改善プログラムの進展に遅れが発生した場合
その他、包括的なリスク	国内外当局との協議・報告の状況および適切な対処ができない場合、世界各国の租税法令またはその解釈や適用指針の変更等により追加の税負担が生じた場合、繰延税金資産に対する評価性引当金の積み増しが必要となる場合、自然災害、疫病、戦争、テロ等が発生した場合
新型コロナウイルス感染症に係るリスク	新型コロナウイルス感染症の影響により、当社グループの事業活動の一部制約や遅れが生じた場合、当社グループの事業に関連する医療行為が減少した場合、感染拡大が長期間にわたって続き特定の製品及び部品調達に制約が生じた場合

### リスクマネジメント体制(2021年3月期)



### 危機管理

オリンパスグループでは新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的大流行)に伴う世界情勢について監視を続けており、確実な事業継続のために各地域、本社にタスクフォースを設置し、経営層による影響把握と迅速な意思決定を可能とする態勢をとりました。

引き続き、従業員、医療従事者の皆さま、患者さん、そしてコミュニティの健康と安全を守ることを最優先に製品とサービスの供給を維持すべく、あらゆる対策を講じてまいります。